

令和元年度 事業報告

I 総則

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会定款第4条（事業）に規定する各号と公益区分、及び令和元年度に実施した事業の関連は次のとおりである。

(公益区分と定款事業)

公益等区分 定款第4条	第1 建築物の環境衛生の向上に関する事業	第2 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業	第3 建築設備機器の事故の防止に関する事業	第4 普及啓発・活用の事業	第5 収益等その他の事業
(1) 調査及び研究の事業	1 調査研究 2 関係行政機関連絡	1 警備防災実態調査 2 見学会 3 関係行政機関・関連団体連絡協調	1 調査研究 2 見学会 3 他地区協会情報交換会		1 海外研修視察 2 公的助成金等周知 3 要望活動
(2) 教育及び訓練の事業	1 研修・講習会 2 セミナー 3 研修資機材整備 4 研修会講師育成等 5 テキスト等作製 6 専門委員派遣 7 法改正・関係資料送付	1 警備業務教育 2 セミナー 3 研修資機材整備 4 専門委員派遣 5 法改正・関係資料送付	1 研修・講習会 2 セミナー 3 研修資機材整備 4 テキスト等作製 5 研修会講師育成等 6 専門委員派遣 7 法改正・関係資料送付	1 障がい者等自立支援事業 2 テキスト等作製 3 労働安全衛生講習 4 研修会講師確保・養成等	1 労務関係講習 2 経営研究セミナー 3 法改正・関係資料送付 4 労務参考図書作製
(3) 育成の事業			1 自主検査推進、定着等	1 相談事業 2 品質改善事業 3 採用等支援事業 4 労働安全衛生推進事業 5 ビルメンテナンスフェア開催	1 賃金・契約改定状況周知
(4) 普及啓発と活用の事業		1 地域安全運動防犯キャンペーン		1 広報誌発行 2 社会への業界・協会PR活動 3 各種ノベルティ作製 4 協会ホームページ充実等 5 こども絵画コンクール	1 各種広報実施
(5) その他の目的達成に必要な事業	1 委員会等開催	1 委員会等開催	1 委員会等開催	1 委員会等開催	1 文化スポーツ親睦事業 2 防災対策 3 ビルメンテナンス会館管理運営事業 4 会員座談会等 5 新年賀詞交歓会 6 名簿等作製 7 表彰事業 8 役員・委員の集い 9 福利厚生事業 10 役員立候補者審査 11 会員・役員倫理事項 12 委員会等開催

Ⅱ 令和元年度に実施した事業報告

第1 建築物の環境衛生の向上に関する事業<建築物衛生管理委員会>

【1 調査及び研究の事業】

1-1-1 調査研究の実施

【令和元年度事業計画】

次の調査研究を実施する。

(1) 清掃ロボットの活用調査

障がい者の清掃ロボット使用の可能性を特別支援学校にて調査する。また、30年度に実施した清掃ロボットの運用実験データをもとに、現場への導入のためのチェックシートを作製する。

(2) 注射針に関する実態調査

新規

注射針の廃棄方法・針刺し・切創事故の実態を調査する。

(1) 清掃ロボットの活用調査

作業負担軽減の観点から、障がい者による清掃ロボット活用の可能性を特別支援学校にて調査した。調査は、一定期間のロボット掃除機の使用を特別支援学校に依頼し、期間終了後に教員及び生徒に対してアンケートを実施した。

また、昨年度の調査実績を基に、ロボット掃除機の現場への導入の可能性について判定するためのシートを作製した。

①調査時期：令和元年9月～12月

②メーカー：アマノ株式会社、ソフトバンク ロボティクス株式会社

③調査場所：アマノ株式会社：都立水元小合学園、都立港特別支援学校

ソフトバンク ロボティクス株式会社：都立足立特別支援学校、都立永福学園

④成 果 物：特別支援学校における清掃ロボット活用の可能性調査報告書

【オフィスビル向け】「清掃ロボットCPM採用」可否簡易判定シート

(2) 注射針に関する実態調査

近年、医療機関以外での針刺し事故が確認されていることから、会員企業にアンケート調査を実施した。

①調査時期：令和元年11月～12月

②成 果 物：針刺し事故に関する実態調査報告書

1-1-2 関係行政機関との連絡

【令和元年度事業計画】

関係諸法令の運用の解説等、講習会を充実させるため、東京都等と連携を図り、情報交換・講師依頼等を進める。

関係諸法令の教育のため清掃作業従事者研修指導者講習、貯水槽清掃作業従事者研修及び建築物ねずみ等防除作業従事者研修について、東京都から講師を招き、法改正など行政の最新情報の提供を実施した。

【2 教育及び訓練の事業】

1-2-1 研修・講習会の実施

【令和元年度事業計画】

清掃作業従事者の技能向上や人材育成及び新しい清掃技法や資機材紹介のため、次の講習会を実施する。

専門講習として、「外国人指導者養成講習」を新たに実施する。

- (1) 従事者研修
 - ①清掃作業従事者研修 Aコース（認定職業訓練 1回12時間） 年6回 拡大
 - ②清掃作業従事者研修 Bコース（1回7時間） 年2回 縮小
 - ③貯水槽清掃作業従事者研修 年1回
 - ④建築物ねずみ等防除作業従事者研修 年1回
- (2) 専門講習 年22回 縮小
- (3) ビルクリーニング技能競技会の開催 隔年

清掃作業従事者の技能向上の成果発表の場として技能競技会を実施し、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会及び一般社団法人日本能率協会主催、公益社団法人東京ビルメンテナンス協会共催の「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2019」で開催される全国大会へ派遣する代表者を決定する。

各種清掃技法の習得や清掃技術の向上を目的に、従事者研修や専門講習を実施した。

令和元年度は、新たに「外国人従事者育成のための指導者養成講習」を開催した。

3月に新型コロナウイルス感染症対策として講習会を中止したこともあり、受講者数は平成30年度と比べ120名減少し、811名であった。

講習会の実施状況

区 分	年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
A コース	元年度	6	6	125	109	234	63	68	131
	30年度	5	5	91	106	197	57	61	118
	増減	1	1	34	3	37	6	7	13
B コース	元年度	2	2	28	35	63	23	26	49
	30年度	3	3	51	36	87	32	27	59
	増減	△1	△1	△23	△1	△24	△9	△1	△10
貯水槽清掃作業 従事者研修	元年度	1	1	19	5	24	8	3	11
	30年度	1	1	17	15	32	9	9	18
	増減	0	0	2	△10	△8	△1	△6	△7
建築物ねずみ等 防除作業従事者 研修	元年度	1	1	18	3	21	9	3	12
	30年度	1	1	15	5	20	6	3	9
	増減	0	0	3	△2	1	3	0	3
専門講習	元年度	22	21	316	153	469	194	111	305
	30年度	25	25	422	173	595	251	147	398
	増減	△3	△4	△106	△20	△126	△57	△36	△93

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画(回)	実施(回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
元年度	32	31	506	305	811	297	211	508
30年度	35	35	596	335	931	355	247	602
増減	△3	△4	△90	△30	△120	△58	△36	△94

※新型コロナウイルス感染症対策として中止した講習会は次のとおり。

- ①石材メンテナンス講習(1回)

第16回ビルクリーニング技能競技会東京大会を令和元年5月17日(金)に開催し、上位2名を東京地区代表として推薦した。

金賞 東京海上日動ファシリティーズ株式会社 三島 芙律 氏

銀賞 太平ビルサービス株式会社 岡田 英宏 氏

銅賞 太平ビルサービス株式会社 加々美 誠 氏

1-2-2 セミナーの開催

【令和元年度事業計画】

新しい清掃技法や資機材の紹介を目的としてセミナーを実施する。

年1回

平成30年度に実施した、清掃ロボットの運用に関する実験報告を中心としたセミナーを実施した。

- ①開催日：令和元年6月19日(水)
- ②テーマ：運用実験全体を通じた総括、実際に導入した企業の意見
- ③講師：建築物衛生管理委員会調査研究小委員会小委員長、委員
- ④参加数：63名(44社)

1-2-3 研修資機材の整備

【令和元年度事業計画】

円滑な講習会運営のため、新規機材の購入、既存機材のメンテナンス等を実施する。

各講習会で使用する消耗品を購入した。

1-2-4 研修会講師の育成等

【令和元年度事業計画】

協会講師の一層の能力向上を図るために、次の事業を実施する。

- (1) 協会講師として必要な知識や技能の習得及び向上を図るために、外部講習会の受講を支援する。
- (2) 協会講師間の相互の指導技術向上や指導水準の統一を図るため、協会講師を対象とした講習会を実施する。(建築物衛生管理・警備防災・建築物施設保全・労務管理・障がい者等自立支援、各委員会の合同事業)
- (3) 協会講師専用ユニフォームの作製など協会講師を支援する。

- (1) 協会講師による外部講習会の受講支援

今年度は講師による外部講習会の受講を実施しなかった。

- (2) 協会講師講習会の開催

指導技術の向上を目的に、協会所属の講師・委員を対象とした講習を実施した。

- ①ビルクリーニング技能検定1級・3級課題講師講習会
 ア) 開催日：令和元年10月2日（水）
 イ) テーマ：ビルクリーニング技能検定1級・3級課題の解説と実技指導
 ウ) 講師：建築物衛生管理委員会教育研修小委員会委員
 エ) 参加数：22名
- ②インストラクター研修
 ア) 開催日：令和2年2月12日（水）
 イ) テーマ：講師としての話し方、伝え方を学ぶ
 ウ) 講師：株式会社インソース 工藤 真穂子 氏
 エ) 参加数：25名

1-2-5 テキスト等の作製

【令和元年度事業計画】

次のテキストの作製を実施する。

- | | |
|-----------------------------|----|
| (1) 『外国人指導者向け入門テキスト（仮）』の作製 | 新規 |
| (2) 『清掃作業従事者初心者向けDVD（仮）』の作製 | 新規 |
| (3) 『建築物清掃品質評価と仕様書』の増刷 | 新規 |

- (1) 『外国人従事者育成のための指導者テキスト』を作製した。
 (2) 『初心者向けクリーンスタッフの心構え』DVDを作製した。
 (3) 『建築物清掃品質評価と仕様書』、『クリーン・クルーマナーブック』を増刷した。

1-2-6 専門委員の派遣

【令和元年度事業計画】

関係団体等に専門委員を派遣し、業務の遂行に協力する。

公益財団法人東京しごと財団のセミナーに専任講師を派遣した。

1-2-7 法改正及び関係資料の送付

【令和元年度事業計画】

法改正及び建築物衛生管理業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

建築物衛生管理業務に関連した情報を会員に周知した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

1-5-1 委員会等の開催

【令和元年度事業計画】

各事業を運営するにあたり、委員会等を開催する。

建築物衛生管理委員会ほか、各小委員会、ワーキンググループを開催し、事業の円滑な運営に努めた。

第2 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業<警備防災委員会>

【1 調査・研究の事業】

2-1-1 調査研究の実施

【令和元年度事業計画】

次の調査研究を実施する。

(1) 警備・防災業務に関する実態調査

警備員の労働条件等の正確なデータを収集し、警備・防災業務において活用するため、「警備業務に関する実態調査」を実施する。

(1) 会員会社を対象に、各社の円滑な警備業務運営の参考データとするため、警備員の採用や給与、警備対象施設等について実態調査を実施した。

①調査時期：令和元年10月～11月

②回 答 率：52.6%（対象社数306社 回答社数161社）

③成 果 物：警備業務に関する実態調査報告書

2-1-2 見学会の実施

【令和元年度事業計画】

新しい知識を習得するために、最新の警備・防災施設及び設備機器等の見学会を実施する。

最新セキュリティ機器の知識習得を目的として、次の見学会を実施した。

①開催日：令和元年11月26日（火）

②見学先：株式会社クマヒラ 日本橋ショールーム（中央区）

③参加数：44名（16社）

2-1-3 関係行政機関・関連団体との連絡協調

【令和元年度事業計画】

警備・防災業務の適正な推進を図るため、警視庁、東京消防庁等の行政機関並びに一般社団法人東京都警備業協会及び公益財団法人東京防災救急協会等の関連団体と緊密な連絡をとり、情報交換を行う。

警備・防災業務の適正な実施に向け、警備員の技能向上を図るため、公益財団法人東京防災救急協会から講師を招き、新任警備員教育において救急救命教育を実施した。

また、警視庁から講師を招き「警備業の現状と対応について」セミナーを実施した。

【2 教育及び訓練の事業】

2-2-1 警備業務教育の実施

【令和元年度事業計画】

警備員の知識・能力の向上のために、次の法定教育、講習会を実施する。

ビル管理における防火・防災の重要性に鑑み、自衛消防技術実務教育を実施するほか、現場の警備責任者クラスの育成を目的に「現場警備責任者のためのスキルアップ講習」を実施する。

- | | | |
|--------------------------------|------|----|
| (1) 新任警備員教育（認定職業訓練 1回24時間） | 年23回 | 拡大 |
| (2) 現任警備員教育（1号業務）（1回6時間） | 年32回 | |
| (3) 現任警備員教育（2号業務）（1回8時間） | 年8回 | 拡大 |
| (4) 自衛消防技術実務教育（1回5時間） | 年5回 | |
| (5) 現場警備責任者のためのスキルアップ講習（1回6時間） | 年1回 | |

新任・現任警備員に対する法定教育である「新任警備員教育」「現任警備員教育」、現場隊長クラスのスキルアップのための「現場警備責任者のためのスキルアップ講習」、自衛消防技術認定証取得のための対策講習である「自衛消防技術実務教育」を実施した。

令和元年8月の警備業法施行規則改正による警備員法定教育時間の緩和を受け、特に現任警備員教育（1号）の受講者が大幅に減少したほか、3月に新型コロナウイルス感染症対策として講習会を中止したこともあり、全体で599名の受講者減となった。

今後は改正内容を踏まえた講習会運営体制の構築や防災関連教育の拡充等を計り、受講者数改善に努めていく。

講習会の実施状況

区分	年度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
新任警備員 教育	元年度	23	21	609	70	679	370	60	430
	30年度	22	22	621	86	707	391	68	459
	増減	1	△1	△12	△16	△28	△21	△8	△29
現任警備員 教育 (1号)	元年度	32	31	1,850	243	2,093	717	114	831
	30年度	32	32	2,235	361	2,596	826	158	984
	増減	0	△1	△385	△118	△503	△109	△44	△153
現任警備員 教育 (2号)	元年度	8	8	135	5	140	43	2	45
	30年度	6	6	158	57	215	44	16	60
	増減	2	2	△23	△52	△75	△1	△14	△15
自衛消防技 術実務教育	元年度	5	5	27	22	49	19	5	24
	30年度	5	4	23	26	49	12	6	18
	増減	0	1	4	△4	0	7	△1	6
現場警備責任者 のためのスキル アップ講習	元年度	1	1	17	3	20	11	2	13
	30年度	1	1	13	0	13	9	0	9
	増減	0	0	4	3	7	2	2	4

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画(回)	実施(回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
元年度	69	66	2,638	343	2,981	1,160	183	1,343
30年度	66	65	3,050	530	3,580	1,282	248	1,530
増減	3	1	△412	△187	△599	△122	△65	△187

※新型コロナウイルス感染症対策として中止した講習会は次のとおり。

- ①新任警備員教育 (2回)
- ②現任警備員教育 (1号) (1回)

2-2-2 セミナーの開催

【令和元年度事業計画】

警備・防災業務に関係する情報を周知するために、警視庁や東京消防庁、専門団体等から講師を招き、会員ニーズや業界動向を踏まえたテーマでセミナーを実施する。 年4回 拡大

最新の警備業界の情報や防災の知識を得ることを目的として、警備業界の現状や首都直下地震の対策などをテーマに、次のセミナー、講習会を実施した。

- (1) 警備業の現状と対策セミナー
 - ①開催日：平成31年4月18日(木)
 - ②講 師：警視庁生活安全部生活安全総務課 防犯営業第一係長 岡野 雅史 氏
警視庁警備部警備第一課対策官 小川 康行 氏
警視庁公安部外事第三課 担当官
 - ③参加数：90名(57社)
- (2) 上級救命講習
 - ①開催日：令和元年8月29日(木)
 - ②講 師：公益財団法人東京防災救急協会 担当講師
 - ③参加数：41名(15社)
- (3) 上級救命講習
 - ①開催日：令和元年11月1日(金)
 - ②講 師：公益財団法人東京防災救急協会 担当講師
 - ③参加数：39名(17社)
- (4) 警備業における防災対応とBCP
 - ①開催日：令和2年2月13日(木)
 - ②講 師：特定非営利活動法人日本防災環境 上倉 秀之 氏
 - ③参加数：54名(35社)

2-2-3 研修資機材の整備

【令和元年度事業計画】

講習会等において必要となる資機材の購入、修理、交換等を実施する。

講習会を円滑に実施するため救命訓練用三角巾、デジタルメトロノーム、その他資機材等を購入した。

2-2-4 専門委員の派遣

【令和元年度事業計画】

公益財団法人東京防災救急協会に評議員、委員を派遣し、関係業務の遂行に協力する。

公益財団法人東京防災救急協会に評議員、委員を派遣し、防火防災関連の最新情報を得るとともに、関係業務の遂行に協力した。

2-2-5 法改正及び関係資料の送付

【令和元年度事業計画】

法改正及び警備業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

警備業務に関連した情報を会員に周知した。

【4 普及啓発と活用の事業】

2-4-1 地域安全運動防犯キャンペーンへの参加

【令和元年度事業計画】

地域の安全のために荒川警察署が実施する特殊詐欺撲滅キャンペーンや防犯パトロール活動に協力する。

地域社会の安全協力及び荒川警察署との連携強化を目的として、荒川警察署が実施した次のキャンペーンに参加し、地域社会との密接な関係を構築した。

- ①名 称：わがまち荒川クリーン作戦、盛り場環境浄化防犯パトロール
- ②実 施 日：令和元年11月21日（木）
- ③地 域：日暮里駅周辺
- ④活動内容：注意喚起のためのチラシ等の配布、地域周辺の防犯パトロール

【5 その他目的達成に必要な事業】

2-5-1 委員会等の開催

【令和元年度事業計画】

各事業を運営するにあたり、委員会等を開催する。

警備防災委員会のほか、各小委員会を開催し、事業の円滑な運営に努めた。

第3 建築設備機器の事故の防止に関する事業<建築物施設保全委員会>

【1 調査及び研究の事業】

3-1-1 調査研究の実施

【令和元年度事業計画】

設備管理の知識・技術の向上を図るために、次の調査研究を実施する。

- (1) 技術の伝承や人材育成を目指し、2ヵ年計画で社内教育に活用できる初心者向けの設備点検に関するマニュアル冊子を作製する。今年度は見学会やアンケート調査など、冊子作製に向けた情報収集を行うほか、AIやIoT等の設備管理における最新技術の動向について調査する。
- (2) 設備管理業務の品質管理・品質向上を目的に、社会ニーズの変化や生産性向上、業務の効率化を目指した取り組みについて、各企業の意識調査や意見交換等を実施する。

次の項目の調査研究を実施した。

- (1) AI、IoTの用語の定義や近年における技術発展の動向、設備管理の現場で活用できる最新ツールなどについて調査し、報告書を作製した。
 - ①調査時期：平成31年4月～令和元年10月
 - ②成果物：『AI、IoTの設備管理現場での活用』
- (2) 「業務品質向上のための各社の取り組み」に関するアンケート調査を実施し、集計結果と回答の傾向を中間報告としてレポートにまとめた。
 - ①調査時期：令和元年8月～10月
 - ②対象者：建築物施設保全委員会委員、大阪協会・設備保全部会委員

3-1-2 見学会の実施

【令和元年度事業計画】

設備管理技術の向上に資するため、新しいビルや大型施設等の見学会を実施する。

設備員を対象に最新技術を取り入れた施設及び建物を見聞し、知識・技術力向上のために、次の見学会を実施した。

- ①開催日：令和元年10月16日（水）
- ②見学先：東京都虹の下水道館、有明水再生センター
- ③参加数：18名（12社）
- ④内 容：ア）東京都虹の下水道館 展示室の自由見学
 - ・ポンプ所 ・中央監視室 ・水質検査室 ・パネル展示
 イ）有明水再生センターの見学
 - ・施設の概要説明 ・第一沈殿池 ・生物反応槽 ・第二沈殿池

3-1-3 他地区ビルメンテナンス協会との情報交換会の実施

【令和元年度事業計画】

相互に設備管理の課題を出し合い、解決策を検討するために、一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会との情報交換会を実施する。

設備管理技術の情報交換を目的に一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会設備保全部会と毎年情報交換会を行っており、今年度は大阪協会主催で次のとおり実施した。

- ①開催日：令和元年11月21日（木）、22日（金）
- ②会 場：ア）施設見学会<大阪城公園（21日）>
イ）情報交換会議（分科会）<北浜フォーラム（22日）>
- ③参加数：東京協会 22名、大阪協会 24名
- ④内 容：ア）大阪城公園の維持管理についての説明、園内施設の見学
イ）東京協会・大阪協会の挨拶、事業報告、分科会
- ⑤分科会テーマ：ア）「ビル管理会社のスマート化について」
イ）「業務品質向上における各社の取り組み（好事例等）」
ウ）「リスク低減のための事故事例（空調・給排水）」

【2 教育及び訓練の事業】

3-2-1 研修・講習会の実施

【令和元年度事業計画】

設備員の技能向上、人材育成を図るために、次の講習会を実施する。

受講ニーズに対応するため、新規講習会として「空気調和と空気線図の基本」を実施する。

- (1) 設備管理の基礎 新人教育（認定職業訓練 1回5日間） 年2回
- (2) 法定講習・電気取扱者安全衛生特別教育 年5回 縮小
- (3) 専門講習 年35回

設備管理（電気・空調・給排水等）に関する必要な知識・技術のほか関係法令を指導教育するために設備員を対象に講習会を実施した。

3月に新型コロナウイルス感染症対策として講習会を中止したこともあり、受講者数は平成30年度と比べ248名減少し、1,488名であった。

講習会の実施状況

区 分	年度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
設備管理の基礎(新人教育)	元年度	2	2	80	17	97	32	10	42
	30年度	2	2	63	22	85	29	13	42
	増減	0	0	17	△5	12	3	△3	0
高圧・特別高圧電気取扱者 安全衛生特別教育	元年度	3	3	70	17	87	34	6	40
	30年度	4	4	82	12	94	29	8	37
	増減	△1	△1	△12	5	△7	5	△2	3
低圧電気取扱者 安全衛生特別教育	元年度	2	2	51	5	56	24	4	28
	30年度	2	2	55	6	61	25	5	30
	増減	0	0	△4	△1	△5	△1	△1	△2
ビル設備管理教育講習 (ビル統括管理責任者講座含)	元年度	35	30	1,085	163	1,248	506	106	612
	30年度	35	35	1,277	219	1,496	596	166	762
	増減	0	△5	△192	△56	△248	△90	△60	△150

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
元年度	42	37	1,286	202	1,488	596	126	722
30年度	43	43	1,477	259	1,736	679	192	871
増減	△1	△6	△191	△57	△248	△83	△66	△149

※新型コロナウイルス感染症対策として中止した講習会は次のとおり。

- ①空気調和と空気線図の応用講習会 (1回)
- ②シーケンスの読み方と実習講習会 (1回)
- ③消防用設備の基礎知識講習会 (1回)
- ④設備図面の読み方講習会 (1回)
- ⑤ビル設備の基礎数学(電気・熱編)講習会 (1回)

3-2-2 セミナーの開催

【令和元年度事業計画】

新しい知識・技術をビル設備管理業務に活かすため、セミナーを実施する。

大雨・豪雨・台風などの風水害にポイントを絞り、ハザードマップ等の情報収集の仕方や、管理ビルの被害を最小限に抑える手法など、情報提供を行うセミナーを実施した。

- ①開催日：令和2年2月27日(木)
- ②テーマ：近年の風水害に学ぶビル管理
- ③講 師：公益財団法人市民防災研究所 理事・事務局長 坂口 隆夫 氏
建築物施設保全委員会技術専門委員会委員
- ④参加数：47名(35社)

3-2-3 研修資機材の整備

【令和元年度事業計画】

円滑な講習会運営のために、新規機材の購入、既存機材のメンテナンス等を実施する。

講習会を実施する上で必要な次の機材を購入し整備した。

- (1) 電気関係講習会で使用する赤外線サーモグラフィ
- (2) 消防設備の基礎知識講習会で使用する消火器カットモデル
- (3) 安全衛生特別教育で使用する耐電ゴム板や消耗品等

3-2-4 テキスト等の作製

【令和元年度事業計画】

次のテキストを作製する。

- (1) 『ビル設備管理テキスト(初級編)』の改訂
- (2) 『ビル設備管理テキスト(中級編)』の改訂

- (1) 『ビル設備管理テキスト(初級編)』を改訂した。
- (2) 『ビル設備管理テキスト(中級編)』を改訂した。

3-2-5 研修会講師の育成等

【令和元年度事業計画】

協会講師の一層の能力向上を図るために、次の事業を実施する。

- (1) 協会講師として必要な知識や技能の習得及び向上を図るために、外部講習会の受講を支援する。
- (2) 協会講師専用ユニフォームの作製など協会講師を支援する。

講習会やテキスト作製に必要な書籍や資料を購入し、講師の知識向上を支援した。

3-2-6 専門委員の派遣

【令和元年度事業計画】

関連団体に専門委員を派遣し、業務の遂行に協力する。

関東地区電気使用合理化委員会に、引き続き建築物施設保全委員会委員長を派遣した。

3-2-7 法改正及び関係資料の送付

【令和元年度事業計画】

法改正及び設備管理業務に関連した情報を会員に送付提供し、周知する。

設備管理業務に関連した情報を会員に周知した。

【3 育成の事業】

3-3-1 設備管理の自主検査の推進、定着と技能向上

【令和元年度事業計画】

設備管理業務の品質向上に資するため、品質管理セミナーや品質管理に関する情報交換会を実施する。

3月に予定していた「ビルメン企業に求められるBC（事業継続）への取組」セミナーは、新型コロナウイルス感染症対策として中止した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

3-5-1 委員会等の開催

【令和元年度事業計画】

各事業を運営するにあたり、委員会等を実施する。

建築物施設保全委員会のほか、各専門委員会を開催し、事業の円滑な運営に努めた。

第4 普及啓発・活用の事業<その他の公益目的事業>

【2 教育及び訓練の事業】

4-2-1 障がい者等自立支援事業の実施<障がい者等自立支援委員会>

【令和元年度事業計画】

社会貢献事業として、次の事業を実施する。

<障がい者就労支援事業>

- | | | |
|---|------|----|
| (1) 就労体験（インターンシップ）の実施 | | |
| 都立特別支援学校生徒等の職場体験実習である企業インターンシップを実施する。 | 年5回 | 拡大 |
| (2) 障がい児（者）に対する自立支援事業 | | |
| 都内各特別支援学校に赴き、児童、生徒に対する指導研修等を行う。 | 年55回 | 拡大 |
| (3) 障がい者清掃作業指導員研修 | | |
| 障がい者清掃作業指導員コース（認定職業訓練 1回12時間） | 年1回 | |
| (4) 障がい者清掃作業従事者研修 | | |
| ①1から学ぶ清掃講習（基礎編） | 年1回 | |
| ②ステップアップ清掃講習（応用編） | 年1回 | 新規 |
| (5) セミナーの開催 | | |
| 障がい者雇用に対する企業の理解を深めるためのセミナーを行う。 | 年1回 | |
| (6) 障がい者清掃作業研修資機材の整備 | | |
| 各種講習会で使用する機器、機材を充実させて講習内容の向上を図り、受講者に分かりやすい講義を提供するために必要な資機材を揃える。 | | |
| (7) 見学会の実施 | | |
| 障がい者雇用促進のため、障がい者雇用の好事例を紹介する見学会を実施する。 | 年1回 | |
| (8) アビリンピック東京大会への協力 | | |
| 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部が主催する大会の協賛団体として、大会の運営に協力する。 | 年1回 | |

<障がい者就労支援受託事業等>

- | | | |
|---|-----|--|
| (1) 都内特別支援学校等教員対象研修 | | |
| 東京都からの委託を受け、都内特別支援学校教員や都内区市町村の障害者学級教員を対象に清掃研修を実施する。 | 年6回 | |
| (2) 東京都教育庁主催の都内特別支援学校教員を対象とした清掃講習会への協力 | | |
| 東京都からの依頼を受け、清掃講習会へ講師を派遣する。 | 年2回 | |
| (3) 東京都教育庁主催の知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定への協力 | | |
| 東京都からの依頼を受け、清掃技能検定へ審査員を派遣する。 | 年5回 | |

<障がい者等就労支援事業>

- | | | |
|--|------------|--|
| (1) 就労体験（インターンシップ）の実施／障がい児（者）に対する自立支援事業 | | |
| 東京都立知的・聴覚障害特別支援学校高等部生徒を対象とした自立と就労支援、小・中学部生徒を対象とした家庭でもできる清掃の基礎指導等を目的として、特別支援学校に講師を派遣した。 | | |
| ①清掃検定対策指導 | 15回（15校） | |
| ②就労体験指導（学校での指導） | 17回（4校） | |
| （企業でのインターンシップ） | 25回（4校・4社） | |

- ③清掃親子教室 12回（9校）
- (2) 障がい者清掃作業指導員研修（障がい者清掃作業指導員コース）
障がい者を雇用している、または雇用を予定している企業の清掃責任者等の養成を目的として、障がい者従業員の指導方法等の研修を実施した。
- ①開催日：令和元年10月8日（火）、9日（水）（2日間講習）
②参加数：16名（14社）
- (3) 障がい者清掃作業従事者研修
ビルメンテナンス業界で働く障がい者を対象に、スキルアップとモチベーションの維持向上を目的として、基礎的な清掃技術の研修を実施した。
- ①1から学ぶ清掃講習（基礎編）
ア）開催日：令和元年7月18日（木）
イ）参加数：24名（10社）
- ②ステップアップ清掃講習（応用編）
ア）開催日：令和元年9月6日（金）
イ）参加数：13名（8社）
- (4) セミナーの開催
障がい者を雇用するうえで、働きやすい環境を作り、指導するためのセミナーを実施した。
- ①開催日：令和2年2月27日（木）
②テーマ：障がい者との接し方、特性別の指導方法等
③講 師：東京都立中野特別支援学校 主幹教諭 中嵐 祐治 氏
東京都立港特別支援学校 主任教諭 平沼 亨 氏
④参加数：27名（15社）
- (5) 障がい者清掃作業研修資機材の整備
各講習会及び清掃巡回指導の充実を図る目的として、幅木やガラス台等を購入した。
- (6) 見学会の実施
特別支援学校の生徒の技術力の高さを周知し、雇用促進を図る目的として、都立特別支援学校清掃技能検定の見学会を実施した。
- ①開催日：令和元年8月1日（木）
②見学先：ビルメンテナンス会館
③参加数：27名（21社）
- (7) アビリンピック東京大会への協力
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部が主催するアビリンピック東京大会に協賛し、実施に協力した。
- ①ビルクリーニング競技指導者講習会
ア）開催日：令和元年12月10日（火）
イ）会 場：ビルメンテナンス会館
ウ）参加数：16名（16社）
- ②アビリンピック東京大会
ア）開催日：令和2年2月1日（土）
イ）会 場：東京障害者職業能力開発校

＜障がい者就労支援受託事業等＞

(1) 都立特別支援学校等教員対象研修

東京都から委託を受け、清掃技能検定の審査員を養成する「清掃技能検定審査員講習」及び東京都市区町村の中学校教員に清掃の基本を指導する「中学校指導者養成講習」を実施した。また、実施の過程で指導のポイントをまとめた教材を2種類、各1,000部作製し、東京都に納品した。

清掃技能検定審査員講習

開催日	会 場	受講者数
7月24日（水）	都立永福学園	5名
7月29日（月）	都立水元小合学園	3名
8月20日（火）	ビルメンテナンス会館	3名

中学校指導者養成講習

開催日	会 場	受講者数
7月25日（木）	都立永福学園	22名
7月30日（火）	都立水元小合学園	17名
8月21日（水）	ビルメンテナンス会館	13名

- (2) 東京都教育庁主催の都立特別支援学校教員の「清掃技能検定指導者講習会講習会」への協力
指導力の向上を図ることを目的として、2回実施された指導者講習会に延8名の講師を派遣した。
- (3) 東京都教育庁主催の知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定への協力
夏季（3回）、冬季（2回）実施された清掃技能検定に延10名の審査員を派遣した。

4-2-2 テキスト等の作製＜障がい者等自立支援委員会、労務管理委員会＞

【令和元年度事業計画】
次のテキストの作製を実施する。

(1) 『1から学ぶ清掃マニュアル』の増刷
(2) 『清掃作業安全衛生基準』の改訂

- (1) 『1から学ぶ清掃マニュアル』を増刷した。
- (2) 清掃作業における安全について、近年の法改正や新たな資機材、手順など、内容を一部新しいものに變更して、タイトルも新たに改訂版『清掃作業安全衛生の手引き』を発刊した。

4-2-3 労働安全衛生講習の実施＜労務管理委員会＞

【令和元年度事業計画】
ビルメンテナンス業の労働安全衛生向上のために、各種の講習会を実施する。

(1) 労働安全衛生関係講習会・セミナー	年3回 拡大
(2) 危険予知訓練（KYT）講習会	年3回 縮小
(3) リスクアセスメント講習	年2回 縮小
(4) 安全管理者選任時講習	年2回 拡大
(5) 衛生管理者試験対策講習	年1回 新規
(6) フルハーネス型安全帯使用作業特別教育（仮）	年1回 新規

(1) 労働安全衛生関係講習会・セミナー

労働安全衛生水準の一層の向上を図り、職場における安全の確保と労働災害撲滅を目的として、法改正への取り組み方や指導方法などの情報提供を行うセミナーを実施した。

①ロープ高所作業における「安全帯と墜落制止用器具」と「元請責任」セミナー

- ア) 開催日：令和元年5月21日（火）
- イ) 講師：一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会 大山 博己 氏、中畑 誠一 氏
- ウ) 参加数：89名（48社）

②高所作業における墜落転落災害防止セミナー

- ア) 開催日：令和元年11月27日（水）
- イ) 講師：中央労働災害防止協会 奥山 広喜 氏
- ウ) 参加者：72名（44社）

③健康経営と高年齢労働者の活用セミナー

- ア) 開催日：令和2年2月21日（金）
- イ) 講師：株式会社ファンケル 小野 麻美 氏
- ウ) 参加者：31名（22社）

(2) 危険予知訓練（KYT）講習会

現場従事者の危険感受性を向上させ、ヒューマンエラーの防止等に大きな効果がある危険予知訓練（KYT）の研修を実施した。

危険予知訓練（KYT）講習会実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）			講 師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
元年度	3	3	69	2	71	27	2	29	中央労働災害 防止協会講師
30年度	4	4	70	2	72	31	2	33	同上
増減	△1	△1	△1	0	△1	△4	0	△4	—

(3) リスクアセスメント講習

改正労働安全衛生法により、危険性又は有害性等の調査等（リスクアセスメント）の実施が努力義務化されたことに鑑み、業界のリスクアセスメントの普及啓発を目指した研修を実施した。

リスクアセスメント講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）			講 師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
元年度	2	2	60	1	61	15	1	16	高橋 明彦 氏
30年度	2	2	16	0	16	10	0	10	同上
増減	0	0	44	1	45	5	1	6	—

(4) 安全管理者選任時講習

常時50人以上の労働者を使用する事業場にて安全管理者の選任が必須であり、業界の資格者拡充と各社の教育の補助を目的とした研修を実施した。

安全管理者選任時講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)			講 師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
元年度	2	2	26	2	28	19	1	20	労務管理委員会 委員
30年度	1	1	14	0	14	10	0	10	同上
増減	1	1	12	2	14	9	1	10	—

(5) 衛生管理者試験対策講習

常時50人以上の労働者を使用する事業場にて衛生管理者の選任が必須であり、業界の資格者拡充と各社の教育補助を目的とした研修を実施した。

- ①開催日：令和元年7月23日（火）、24日（水）
- ②講 師：株式会社アプエンテ 中村 文彦 氏
- ③参加数：20名（10社）

(6) フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

高さ2メートル以上の箇所で作業床を設けることが困難なところにおいて、墜落制止用器具のうちフルハーネス型のものを用いて行う作業に係る業務に就く者は、6時間の特別教育の受講が必要であり、資格者拡充と各社の教育補助を目的とした研修を実施した。

- ①開催日：令和元年11月21日（木）
- ②講 師：一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会 講師
- ③参加数：23名（8社）

4-2-4 研修会講師の確保・養成等<各委員会>

【令和元年度事業計画】

協会の研修会・講習会等に講師を派遣している会員に対する支援事業を実施する。

専門講師への情報提供等の支援を行うとともに、講師派遣会社に対して協力金を支給した。

【3 育成の事業】

4-3-1 相談事業の実施<総務委員会>

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンス業務に関連した経営上の多様な問題解決に資するため、人事労務管理、経営全般、ISO、法律、品質改善活動等の相談を受け、専門家によるアドバイス、改善指導等を行う。また、広報誌に「なんでも相談コーナー」を掲載し、情報提供及び広報活動を実施する。

次の事業を実施した。

(1) 相談事業の実施

- ①相 談 内 容：品質改善関係、労働安全衛生関係、設備保全関係等
- ②相 談 件 数：6件
- ③広報誌掲載：11回（何でも相談コーナー）

4-3-2 品質改善事業の実施＜総務委員会＞

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンス業務における品質管理の徹底と品質改善活動の意欲向上を図り、ビルメンテナンス業の発展を促進するために、次の事業を実施する。

- (1) 品質管理に関する各種講習会
- (2) 品質改善フォーラム（勉強会）
- (3) その他普及啓発活動

(1) 品質管理に関する各種講座の実施

①品質管理入門コース

ビルメンテナンス業界における品質管理の初学者を対象として、品質管理を基礎から学ぶ「品質管理入門コース」を実施した。

- ア) 開催日：令和元年6月5日（水）
- イ) 講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏
- ウ) 参加数：49名（16社）

②品質管理推進者コース（全2回完結）

職場において品質管理手法を普及、指導する方を対象として、「品質管理推進者コース」を開催した。

- ア) 開催日：第1回目 令和元年7月10日（水）
第2回目 令和元年8月7日（水）
- イ) 講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏
- ウ) 参加数：38名（13社）

③再発防止対策講座（全5回完結）

ビルメンテナンス業における現場の問題点として、主に「トラブル」、「クレーム」、「労働災害」の3点が挙げられており、これらの諸問題が繰り返し発生している現状に鑑み、再発防止を強化した問題解決手順を学ぶ「再発防止対策講座」を実施した。

- ア) 開催日：第1回目 令和元年10月16日（水）
第2回目 令和元年11月13日（水）
第3回目 令和元年12月11日（水）
第4回目 令和2年1月22日（水）
第5回目 令和2年2月12日（水）
- イ) 講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏

- ウ) 参加数：17名（11社）

(2) 品質改善勉強会の開催

「品質管理」をテーマに、参加者各社が持っている課題を解決する方策について検討し、品質管理システムを構築するための勉強会を開催した。

- ①開催実績：11回
- ②参加企業：5社

(3) その他普及啓発活動

会員会社が企画する品質管理に関する社内研修等に、ビルメンテナンス業の品質管理に詳しい有識者を派遣した。

- ①派遣実績：1社
- ②派遣企業：株式会社小田急ビルサービス

4-3-3 採用等支援事業の実施<総務委員会、広報委員会>

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンス業界の喫緊の課題である人材確保と育成定着支援、雇用環境整備支援として、次の事業を実施する。

- (1) 各種セミナーの実施
- (2) 業界特化型求人サイトの運営
- (3) 初心者導入教育の実施
- (4) 各種相談の実施

(1) 各種セミナーの実施

3月に予定していた求人に関するセミナーは、新型コロナウイルス感染症対策として中止した。

(2) 業界特化型求人サイトの運営

昨年度に引き続き、ビルメンテナンスに関する求人サイトを運営し、採用の支援を行った。

(3) 初心者導入教育の実施

初心者導入教育を次のとおり実施した。

清 掃 編：2回（令和元年8月23日（金）、11月19日（火））

設備管理編：1回（令和元年7月25日（木））

(4) 各種相談の実施

今年度は、会員からの相談はなかった。

4-3-4 労働安全衛生の推進事業の実施<労務管理委員会>

【令和元年度事業計画】

労働安全衛生意識の向上、関係情報の提供等を図るために、次の事業を実施する。

(1) 労働安全衛生大会	年1回
(2) 労働災害・無災害企業の募集及び表彰	年1回
(3) 労働安全衛生標語の募集及び表彰	年1回
(4) ヒヤリ・ハット活動報告の募集及び表彰	年1回
(5) 労働安全に関するノベルティの作製と配布	年1回
(6) 労働安全講師の派遣	年12回
(7) 一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会との情報交換会	年1回

(1) 労働安全衛生大会の開催

東京労働局、中央労働災害防止協会から来賓を招き、業界の内外に「労働災害の撲滅」に取り組む宣言の場として、ビルメンテナンス業の労働安全衛生の向上・啓発を目的に、大会を実施した。

①開催日：令和元年10月11日（金）

②来 賓：東京労働局労働基準部安全課長 直野 泰知 氏
中央労働災害防止協会理事長 八牧 暢行 氏

③講 演：森井労働法務事務所 森井 梢江 氏

「転倒・腰痛を防ごう！ ～体操実演もふまえて～」

④参加数：172名（98社）

(2) 労働災害無災害企業の表彰

労働安全意識の高揚を目的として、無災害記録を達成した会員を労働安全衛生大会時に表彰した。

- ① 7年間無災害1社（東石ビル管理株式会社）
- ② 5年間無災害1社（ダイヤビルテック株式会社）
- (3) 労働安全衛生標語の募集及び入選者の表彰
労働安全衛生（通勤災害、健康保持増進関連を含む）に関する標語の募集を行い、選考会にて優秀作品を選出し、入選作者を労働安全衛生大会において表彰した。
 - ① 金賞：高橋 好江 氏（日本クリーン株式会社）
「高めよう 一人ひとりの安全意識 予知して摘み取る危険の芽」
 - ② 銀賞：櫻井 肇 氏（株式会社関東コーワ）、須藤 徹也 氏（日本管財株式会社）
 - ③ 銅賞：中澤 武 氏（株式会社ジャレック）、川田 和夫 氏（株式会社セイビ）
久保 奈穂子 氏（日本クリーン株式会社）
- (4) 災害事例・ヒヤリハット報告に伴う改善事例の表彰
入選作の14社、14作品を労働安全衛生大会において表彰した。
- (5) 労働安全に関するノベルティの作製と配布
ビルメンテナンス業の労働安全衛生の向上を目的に開催した労働安全衛生大会において、労働災害撲滅の啓発のため、ノベルティを作製し、配布した。
- (6) 安全衛生講師の派遣
社内の安全衛生委員会、安全大会等に労務管理委員会委員を講師として派遣しており、12社の要請に応じて派遣した。
- (7) 一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会との情報交換会の実施
ガラス清掃における災害事例や安全対策について、一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会と労務管理委員会との情報交換会を3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策として中止した。

4-3-5 ビルメンテナンスフェアの開催<広報委員会>

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンス業界の育成と社会へのPRを目的に、隔年でビルメンテナンスフェアを開催している。次回の開催に向けて、実行委員会を立ち上げられるよう準備する。

次回のビルメンテナンスフェアの開催を令和3年度としたことから、今年度の実行委員会の設置は見送りとした。令和2年度に改めて実行委員会を設置する。

【4 普及啓発と活用の事業】

4-4-1 広報誌の発行<広報委員会>

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンスに関連した情報発信のために、次の情報を掲載した広報誌「ネットワーク東京」を、月1回（9月休刊）発行する。

- (1) 清掃・警備・設備管理等に関する技術・業務・法令等の情報
- (2) 各種セミナー、社会貢献活動等協会事業に関する情報
- (3) ビルメンテナンスの経営・労務・安全等に関する情報
- (4) 総会・理事会・各委員会に関する情報 等

9月を除き毎月発行（年11回）した。各号について以下の特集記事を掲載した。

- (1) 清掃・警備・設備管理等に関する技術・業務・法令等の情報
 - 4月号 警備防災セミナー 自然災害に負けないビルメンテナンスとは？
 - 5月号 設備管理責任者のための法令管理セミナー
- (2) 協会事業に関する情報
 - 8&9月号 第16回ビルクリーニング技能競技会東京大会開催
 - 12月号 令和元年度労働安全衛生大会開催
- (3) ビルメンテナンスの経営・労務・安全等に関する情報
 - 6月号 ファシリティマネジメントセミナー～企業力向上のためのISO活用～
 - 10月号 10月の消費税率の改定に伴うチェックポイント
 - 11月号 ビルメンテナンス業界で働く外国人と適切なコミュニケーションをとるために
 - 1月号 ビルメンテナンス業におけるドローンの活用
 - 2月号 ビルメンテナンス業における労働災害を防止するために
 - 3月号 働き方改革関連法 2020年の企業対応重点課題
- (4) 総会・理事会・各委員会に関する情報等
 - 7月号 第9回定時総会開催
 - その他、毎号理事会報告、委員会報告を掲載した。

4-4-2 社会への業界・協会PR活動の実施<広報委員会>

【令和元年度事業計画】

業界・協会活動を広く社会にPRする活動を実施する。また、マスコミ対応や情報提供等を実施する。令和元年度は、採用等支援事業で実施する業界特化型求人サイトのPRを強化する。

業界特化型求人サイトの広告活動として、インターネット広告をYahooとGoogleにリスティング広告（検索時に表示する広告）等を掲載し、都内求職者のアクセス数を増やした。

4-4-3 各種ノベルティの作製<広報委員会>

【令和元年度事業計画】

協会の認知度の向上のために、ノベルティグッズを作製し配布する。

環境に配慮し100%再生プラスチックを使用した、オリジナルデザインのクリアファイルを作製した。

4-4-4 協会ホームページの充実等<広報委員会>

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンスに関する情報を広く社会にPRするため、協会のホームページの更新、メールマガジンの配信を実施する。

ホームページの更新を行い、メールマガジンを年12回配信した。

4-4-5 こども絵画コンクールの実施＜広報委員会＞

【令和元年度事業計画】

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会主催のこども絵画コンクールに合わせ、東京地区からの応募作品から優秀作品を選び顕彰する。また、優秀作品を掲載したカレンダーを作製し配付する。

東京地区からの応募作品について次のとおり審査し、優秀作品を選出した。また、入選作品を掲載したカレンダーを作製し、会員のほか、都内公立小学校等に配付した。

- ①東京地区応募作品数：984点
- ②一次審査：(実施日) 令和元年10月6日(日)
(審査員) 都内公立小学校美術教諭4名
- ③二次審査：(実施日) 令和元年10月18日(金)
(審査員) 広報委員会委員等6名
- ④審査結果：12点の優秀作品を選出し、受賞者には、表彰状と副賞を送付した。
- ⑤配付先：会員の他、都内公立小学校、都内幼稚園、児童館等に配付した。

【5 その他目的達成の事業】

4-5-1 委員会等の開催

【令和元年度事業計画】

各事業を運営するにあたり、委員会等を実施する。

各事業を運営するにあたり、総務委員会、労務管理委員会、広報委員会、障がい者等自立支援委員会などを開催した。

第5 収益等その他の事業＜共益事業・収益事業＞

【1 調査及び研究の事業】

5-1-1 海外研修視察の実施＜総務委員会＞

【令和元年度事業計画】

欧州・アメリカ等の世界各国におけるビルメンテナンス業の実態視察を目的として参加を募り、海外研修視察を実施する。隔年事業であることから、次年度の実施に向けて訪問先などの情報収集を行う。

令和2年度の開催に向けて、訪問先の情報収集を行った。

5-1-2 公的助成金等の周知＜総務委員会＞

【令和元年度事業計画】

公的助成金等を会員に周知し、その利用促進を図るために、広報誌に助成金等の情報を掲載する。

公的助成金の最新情報を周知するため、広報誌ネットワーク東京へ「使える助成金・補助金シリーズ」として記事を3回掲載した。

掲載月：6月号(Vol.562)、8&9月号(Vol.564)、10月号(Vol.565)

5-1-3 要望活動の実施<経営研究委員会>

【令和元年度事業計画】

建築物の適切な維持管理と健全なビルメンテナンス業の育成を図る観点から、東京都等に対して、次の要望活動を実施する。

- (1) 総合評価制度の拡充について
- (2) 最低制限価格導入の条件について
- (3) 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について
- (4) 十分な予算措置及び適正な予定価格の設定について
- (5) 障害者雇用の促進について

東京都の各局等に対し、次のとおり要望を行った。

- ①要 望 日：令和元年8月30日（金）
- ②要 望 先：財務局（経理部総務課・契約第二課、主計部財政課、建築保全部庁舎管理課・庁舎整備課）、病院経営本部、水道局、下水道局、交通局、教育庁
- ③要望項目：ア) 総合評価制度の拡充について
イ) 十分な予算措置並びに最低制限価格の導入する場合の協議について
ウ) 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について
エ) 障害者雇用の促進について
- ④その他：特別区長会及び東京都の外郭団体に要望書を参考送付した。

要望の回答は、令和2年4月に都議会会派を通じて届いたが、総合評価制度の拡充（案件数増加）など、要望は着実に前進している。

【2 教育及び訓練の事業】

5-2-1 労務関係講習会の実施<労務管理委員会>

【令和元年度事業計画】

ビルメンテナンス業の労務管理の向上、各種労働問題の解決に資するために講習会、セミナー、意見交換等を実施する。

労務管理技術の向上のために、最新の法改正や雇用情勢への対応を目的としたセミナー等を実施した。

- (1) 外国人労働者とのコミュニケーションセミナー
 - ①開催日：令和元年6月20日（木）
 - ②講 師：内定ブリッジ株式会社 代表 浅見 一郎 氏
 - ③参加数：70名（46社）
- (2) ビルメンテナンス業のパワーハラスメント対策のワークショップ（情報交換会）
 - ①開催日：令和元年9月4日（水）
 - ②講 師：森井労働法務事務所 森井 梢江 氏（労務管理委員会委員）
 - ③参加数：15名（15社）
- (3) 外国人労働者の適正な雇用と今後の展望セミナー
 - ①開催日：令和2年1月30日（木）
 - ②講 師：公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 事業推進部 下平 智子 氏
警視庁組織犯罪対策総務課 秋保 弘徳 氏
 - ③参加数：83名（54社）

5-2-2 経営研究セミナーの実施<経営研究委員会>

【令和元年度事業計画】

知識の普及や業界の経営改革を先取りした、会社経営に役立つセミナーを実施する。

3月に予定していた求人对策セミナーは、新型コロナウイルス感染症対策として中止した。

5-2-3 法改正及び関係資料の送付<労務管理委員会>

【令和元年度事業計画】

法改正及び労務管理業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

労務管理業務に関連した情報を会員に周知した。

5-2-4 労務参考図書の作製<労務管理委員会>

【令和元年度事業計画】

次のパンフレットの作製を実施する。

(1)『働き方改革関連法』解説パンフレットの作製 **新規**

働き方改革関連法について、現場従事者でもわかる、すっきりと見やすいQ&A形式の解説パンフレットを作製し配布した。

【3 育成の事業】

5-3-1 賃金・契約改定状況の周知<経営研究委員会>

【令和元年度事業計画】

都内における最低賃金の上昇、契約改定率等に関するリーフレットを作製し、周知する。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の影響を踏まえ、来年度に作製することとした。

【4 普及啓発と活用の事業】

5-4-1 各種広報の実施<広報委員会ほか>

【令和元年度事業計画】

協会諸事業の周知を図るために、定期便の発送や記者発表等を実施する。また、理事等役員の改選に伴い、協会パンフレットを刷新する。その他、DMの送付等により入会を促進する。

定期便を毎月2回発送し、会員に対して情報の周知を行ったほか、協会パンフレットを全面改訂して作製した。また、入会促進のため、DMを送付した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

5-5-1 文化スポーツ親睦事業の実施<厚生委員会>

【令和元年度事業計画】

会員企業従業員の健全な心身の鍛練に資し、相互の同好者により親睦を図るために、以下の事業を実施する。

(1) 野球大会	年 1 回
(2) ゴルフ大会	年 2 回
(3) 日帰りバス旅行	年 1 回
(4) 屋形船ナイトクルージング	年 1 回
(5) ボウリング大会	年 1 回
(6) 東京都交響楽団演奏会招待	年 4 回

文化・スポーツ事業を次のとおり実施した。

(1) 第93回野球大会

- ①開催日：(予選) 令和元年5月26日(日)、6月2日(日)、9日(日)
- ②会 場：サンケイスポーツセンター(埼玉県三郷市)
- ③開催日：(決勝) 令和元年7月21日(日)
- ④会 場：上柚木公園野球場(東京都八王子市)
- ⑤参加数：30チーム
- ⑥結 果：優 勝) 株式会社サニクリーン東京
準優勝) 鹿島建物総合管理株式会社

(2) ゴルフ大会

	第201回	第202回
開催日	平成31年4月16日(火)	令和元年9月26日(木)
会 場	桜ヶ丘カントリークラブ (東京都多摩市)	紫カントリークラブ すみれコース (千葉県野田市)
参加数	32名	39名

(3) 第20回日帰りバス旅行

- ①開催日：令和元年9月7日(土)
- ②コース：山梨巨峰狩り、山中湖花の都公園見学
- ③参加数：30名

(4) 第10回屋形船ナイトクルージング

- ①開催日：令和元年10月19日(土)
- ②コース：浅草・吾妻橋～レインボブリッジ～お台場～浅草・吾妻橋
- ③参加数：37名

(5) 第5回ボウリング大会

- ①開催日：令和2年2月21日(金)
- ②会 場：王子サンスクエアボウル(北区)
- ③参加数：30名

(6) 東京都交響楽団演奏会特別招待券募集の実施

	第48回	第49回	第50回	第51回
開催日	令和元年 6月8日(土)	令和元年 11月4日(月)	令和元年 12月23日(月)	令和2年 3月9日(月)
会場	東京芸術劇場	調布グリーンホール	東京芸術劇場	東京文化会館
招待数	10組20名	15組30名	15組30名	(中止)

5-5-2 防災対策の実施<総務委員会>

【令和元年度事業計画】

首都直下型地震等による災害に備え、館内従事者や受講者及び地域住民のための防災用品や食料備蓄の充実を図る。また、火災や地震などに対する防災対策を実施する。

震災等に対処するため、館内の役職員・受講者等を対象に、食糧・毛布・非常用トイレ袋等を備蓄するとともに、賞味期限の近い備蓄食料の入れ替えを行った。なお、賞味期限が近い備蓄食料については、会館防災訓練参加者へ配付した。

5-5-3 ビルメンテナンス会館管理運営に関する事業の実施<財務委員会>

【令和元年度事業計画】

- (1) ビルメンテナンス会館貸室の管理運営
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般財団法人建築物管理訓練センター及び全国ビルメンテナンス政治連盟に賃貸する。
- (2) ビルメンテナンス会館の会議室の利用の促進
広報誌等に会議室料金表を掲載し、利用の促進を図る。
- (3) ビルメンテナンス会館の適正な保全・管理運営
次の点に留意し、適正な保全・管理運営に努める。
 - ①会館管理連絡会（当協会・公益社団法人全国ビルメンテナンス協会・一般財団法人建築物管理訓練センターの事務レベル連絡会）の開催による情報の交換
 - ②保守委託契約に基づく適正な管理
 - ③会館の維持に関し、長期修繕計画に基づく修繕積立及び実施
 - ④会館維持に必要なその他修繕等の実施
 - ⑤来館者に対する案内板の表示及び会館の環境美化
- (4) 会館内における展示に関する事業
会館イメージの向上に資するよう、会館内にこども絵画コンクール作品等の展示物を展示する。

(1) ビルメンテナンス会館貸室の管理運営

全国協会、訓練センター及び全国ビルメンテナンス政治連盟に継続して賃貸した。

(2) ビルメンテナンス会館の会議室の利用の促進

会館会議室の利用促進を図るために、会館会議室・研修室利用に関する情報を協会ホームページ、『ネットワーク東京』（掲載回数2回）、『会員名簿』に掲載した。

会議室・研修室利用状況

年度	地階	2階	3階	4階
元年度	60.7%	73.0%	85.2%	55.7%
30年度	58.9%	67.2%	69.7%	45.6%
差	1.8ポイント	5.8ポイント	15.5ポイント	10.1ポイント

※利用率の算出方法（土日・祝日・会館休業日を除外した年間の実利用日数）

(3) ビルメンテナンス会館の適正な保全・管理運営

テナント（全国協会・訓練センター）と会館管理に関する情報交換を行うと共に、管理委託契約に基づく適正な会館維持管理に必要な修繕及び積立、また来館者に対する案内板の設置等を実施した。

令和元年度は、次のとおり修繕等を実施した。

①長期修繕計画に基づく修繕

5階男女トイレ・給湯室改修工事、給気・換気ファン更新工事、消火用補給水槽更新工事、水道子メーター更新工事

②その他の修繕、補修等

Wi-Fi設置工事、喫煙室設置工事、既存サッシ調整工事、2階Pタイル張替工事、その他小口修繕工事

③ビルメンテナンス会館の案内板の設置

JR及び東京メトロ 西日暮里駅、並びに会館最寄の電柱 計4カ所

(4) 会館内における展示に関する事業

絵画コンクール入賞作品を展示した。

5-5-4 会員座談会の開催<広報委員会>

【令和元年度事業計画】

会員の声を広聴するため、必要に応じて座談会やアンケート調査等を実施する。

ビルメンテナンスフェアTOKYOの開催時期等を検討するため、賛助会員に対してアンケートを実施した。

①対象社数：67社

②回答数：24社

③内容：令和3年度に開催を予定しているビルメンテナンスフェアの開催月について

5-5-5 新年賀詞交歓会の開催<総務委員会>

【令和元年度事業計画】

会員相互で新年を祝う会として新年賀詞交歓会を実施する。

新年賀詞交歓会を開催し会員等の交流・親睦を図った。

①開催日：令和2年1月15日（水）

②会場：浅草ビューホテル

③参加数：365名

5-5-6 名簿等の作製<総務委員会>

【令和元年度事業計画】

会員の交流と利便性の向上に資するよう会員名簿を作製し、会員へ配付する。

会社名、所在地等を掲載した『会員名簿』を作製し、会員等に配付した。

5-5-7 表彰事業の実施〈総務委員会〉

【令和元年度事業計画】

- (1) 協会の主催する表彰
次の表彰を実施する。
- ①優良従業員表彰
優秀な従業員を、会員から1社5名以内で推薦を受け表彰する。
- ②永年勤続者表彰
定時総会において、協会の役員及び委員を誠実に永年勤続した功労者に対し、規則に基づき表彰を行う。
- ③慶祝行事としてのお祝い品
定時総会において、還暦を迎えた会員代表者（1名）に記念品を贈呈し、慶祝する。
- (2) 国・都・他団体の表彰に関する被表彰者の推薦
叙勲・褒章・都功労者表彰等について、被表彰者を推薦する。

(1) 協会の主催する表彰

①優良従業員表彰

会員から優秀な従業員について1社5名の範囲で推薦を受け、「第53回優良従業員表彰式」を開催した。

ア) 開催日：令和元年6月18日（火）

イ) 会場：東京国際フォーラム ホールC

ウ) 受彰者：722名（163社）

エ) 催 事：記念コンサート（東京都交響楽団弦楽アンサンブル）

②永年勤続者表彰

第9回定時総会において、役員及び委員を誠実に永年勤続した功労者に対し、6年～36年の永年勤続者表彰を行った。

ア) 実施日：令和元年5月28日（火）

イ) 受彰者：36名

③慶祝行事としてのお祝い品

第9回定時総会において、還暦を迎えた会員代表者に記念品を贈呈し、慶祝行事を行った。

ア) 実施日：令和元年5月28日（火）

イ) 対象者：5名

(2) 国・都・他団体の各表彰への推薦

協会推薦等により次の方が表彰を受けた。

（敬称略）

表彰名	氏 名
旭日小綬章	原田 長治
瑞宝単光章（技能検定功労）	藤川 雷治
厚生労働大臣表彰（建築物環境衛生功労者）	吉澤 幸夫
厚生労働大臣表彰（職業能力開発）	小室 泰之
東京都知事感謝状	北山 克己
東京都産業労働局長感謝状（認定職業訓練功労）	鈴木 達也
東京都産業労働局長感謝状（認定職業訓練功労）	中川 朋之
東京都産業労働局長感謝状（認定職業訓練功労）	松島 勇一
東京都産業労働局長感謝状（認定職業訓練功労）	田中 務

東京労働局長安全衛生推進賞	田中 邦和
日本建築衛生管理教育センター会長表彰	小川 恵子

5-5-8 役員・委員の集いの開催<総務委員会> 隔年

【令和元年度事業計画】

今後の協会運営を円滑に進めるために、令和元・2年度の役員・委員の集いを開催する。

令和元・2年度の委員会委員の決定を受け、日頃の委員会活動への感謝と協会事業の円滑な執行を図ることを目的として、役員・委員の集いを実施した。

- ①開催日：令和元年7月19日（金）
- ②会 場：京王プラザホテル
- ③参加数：116名

5-5-9 福利厚生事業の実施<総務委員会>

【令和元年度事業計画】

次の団体扱い保険等に加入できる制度を整備し、会員の福利厚生に資する。

- (1) 賠償責任保険
 グループ傷害保険（労災保険上乗せ）
- (2) その他（全国協会取扱い）
 一般財団法人全国中小企業共済財団の生命共済制度、特定退職金共済制度、ビルメンテナンス賠償共済保険、AIUの災害補償制度及び賠償責任補償制度

団体扱い保険等への加入状況は次のとおりである。

各種保険の加入状況

区 分	加入状況
グループ傷害保険（政府労災の上乗せ制度）	9件
生命災害共済制度、特定退職金共済制度、ビルメンテナンス賠償責任保険、災害補償制度、賠償責任補償制度	59件

5-5-10 役員立候補者の資格等審査に関する事項の実施<役員立候補者資格等審査委員会>

【令和元年度事業計画】

役員立候補者の資格等の審査に関する事務を適正に実施する。

令和元・2年度役員立候補者の資格等審査を実施した。

5-5-11 会員又は役員の倫理に関する事業の実施<倫理委員会>

【令和元年度事業計画】

会員又は役員の倫理に関し必要な諸施策を検討し、実施する。

特に実施した事項はなかった。

5-5-12 委員会等の開催

【令和元年度事業計画】

各事業を運営するにあたり、委員会等を実施する。

総務委員会、財務委員会、厚生委員会、経営研究委員会等を開催し、事業の円滑な運営に努めた。

Ⅲ 本会の目的を達成するために必要な会議の開催

次のとおり、本会の目的を達成するために必要な会議を実施した。

1 総会・理事会

(1) 総会

<p>第9回定時総会 開催日：令和元年5月28日（火）、於：ビルメンテナンス会館</p> <p>以下の議案が提案され、原案通り承認された。</p> <p>第1号議案 平成30年度 事業報告</p> <p>第2号議案 平成30年度 決算 －監査報告－</p> <p>第3号議案 定款施行規則及び役員の報酬等に関する支給基準の一部改正</p> <p>第4号議案 令和元・2年度 役員等の選任</p>

(2) 理事会

理事会は8月を除く毎月開催し、年間合計12回開催した。主な審議内容は次のとおりである。

理事会名	開催日	審議内容
第91回	平成31年4月2日（火）	1) 入会の承認 2) 第9回定時総会の招集 3) 定款施行規則の一部改正 4) 事務局非常勤職員任用規程の一部改正 5) 委員会委員の追加選任 原案通り承認
第92回	令和元年5月8日（水）	1) 入会の承認 2) 平成30年度 事業報告 3) 平成30年度 決算 4) 協会における年号表記の扱い等 5) 令和元・2年度 東京協会役員候補者等の総会付議 6) 永年勤続者表彰候補者 原案通り承認
臨時	令和元年5月28日（火）	1) 会長の選任 2) 副会長及び専務理事の選任 3) 名誉会長の選任 4) 業務執行理事の選任 原案通り承認
第93回	令和元年6月4日（火）	1) 令和元・2年度 執行体制について 2) 令和元・2年度 理事会等の運営について 3) 令和元・2年度 委員会基本方針について 4) 入会の承認について 原案通り承認
第94回	令和元年7月2日（火）	1) 入会の承認について 2) 令和元・2年度 委員会委員の選任について 3) 「令和2年度東京都予算要望 ビルメンテナンス業関係施策」について 原案通り承認
第95回	令和元年9月3日（火）	1) 入会の承認について 2) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認
第96回	令和元年10月1日（火）	1) 入会の承認について 2) 令和元年度 労働安全衛生大会「大会宣言」について 3) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認

第97回	令和元年11月5日(火)	1) 入会の承認について 2) ビルメン事業共同企業体の業務遂行に係る対応について 3) 令和2年度 予算編成方針について 4) 東京2020オリンピック・パラリンピック対応特別委員会の設置について 原案通り承認
第98回	令和元年12月3日(火)	1) 入会の承認について 原案通り承認
第99回	令和2年1月15日(水)	1) 入会の承認について 2) ビルメン事業共同企業体への統括責任者の推薦について 原案通り承認
第100回	令和2年2月4日(火)	1) 入会の承認について 2) 令和2年度 事業計画について(提案) 3) 令和2年度 予算について(提案) 4) 経理規則細則の一部改正について 上記2)、3)のみ次回理事会にて継続審議 上記1)、4)は原案通り承認
第101回	令和2年3月3日(火)	1) 継続入会の承認について 2) オリンピック支援積立預金の用途について 3) 令和2年度 事業計画について 4) 令和2年度 予算について 5) 令和2年度 資金調達及び設備投資の見込みについて 原案通り承認

2 三役会・委員会等

会 議 名	開催回数	開 催 日
1 三役会	11回	4/2、5/8、6/4、7/2、9/3、 10/1、11/5、12/3、1/15、2/4、 3/3
2 総務委員会	11回	4/16、5/20、6/19、8/20、9/24、 10/18、11/19、12/17、1/21、2/21、 3/24
3 財務委員会	4回	4/19、10/17、11/28、1/23
4 労務管理委員会	2回	7/12、12/12
(ア) 労働条件小委員会	10回	4/12、5/15、6/20、8/6、9/4、 10/16、11/14、1/30、2/17、3/18
(イ) 労災収支改善小委員会	9回	4/24、5/21、7/26、8/29、9/26、 10/30、11/27、1/22、2/21
5 厚生委員会	2回	7/17、12/11
6 経営研究委員会	1回	12/18
(ア) 官公庁契約小委員会	1回	6/25
(イ) FM小委員会	1回	12/18
7 広報委員会	10回	4/10、5/10、6/13、7/10、9/13、 10/7、11/8、12/17、1/17、2/10
(ア) 広報誌編集小委員会	20回	4/10、4/17、5/10、5/17、6/10、 6/17、7/10、7/17、9/6、9/13、 10/7、10/17、11/8、11/15、12/10、 12/17、1/10、1/17、2/10、2/17

8 建築物衛生管理委員会	17回	5/22、9/4、12/13 ・ビルクリーニング技能競技会運営 ワーキンググループ 4/5 ・検定対策講習講師用資料作成 ワーキンググループ 4/5、7/16、9/24、10/1 ・外国人の指導者向け資料作成 ワーキンググループ 11/7、12/23、1/16、2/6、2/25 ・清掃作業従事者初心者向け資料作成 ワーキンググループ 4/15、5/20、7/13、7/21
(ア) 教育研修小委員会	1回	2/10
(イ) 調査研究小委員会	5回	4/8、9/9、12/4、2/17、3/16
(ウ) 貯水槽管理専門委員会	1回	5/10
9 警備防災委員会	7回	8/27、12/17 ・警備責任者教育研究ワーキンググループ 4/25、5/31、6/28、7/31、8/20
(ア) 調査研究小委員会	3回	8/6、9/5、2/7
(イ) 研修企画小委員会	2回	7/10、11/15
(ウ) 教育研修小委員会	2回	10/29、1/23
10 建築物施設保全委員会	5回	5/13、7/23、10/15、12/5、2/18
(ア) 技術専門委員会	8回	4/25、6/21、7/25、9/20、10/29、 12/5、1/24、2/12
(イ) 品質向上専門委員会	8回	4/16、5/23、6/14、7/11、9/25、 10/24、12/5、1/21
(ウ) 教育研修専門委員会	6回	4/5、5/20、7/8、8/2、11/28、 1/20
11 役員立候補者資格等審査委員会	1回	2/12
12 倫理委員会	0回	
13 障がい者等自立支援委員会	1回	12/19
(ア) 巡回指導小委員会	2回	5/30、10/11
14 監査	2回	4/22、11/29
15 東京地区選出全協代議員会議	1回	7/17
合計	154回	

(参考) 東京地区本部に係る事業等の実績 (令和元年度)

1 他地区本部との合同研修会の開催

東京地区本部と関東甲信越地区本部は合同研修会を開催し、次のとおり情報交換を行った。

【議題「会員支援へのアプローチについて」(会員メリット、外国人雇用、IT戦略、オリンピック等)】
各都県から、テーマについて現状が報告され、問題や課題について意見交換を行った。

(1) 入会促進・会員メリットについて

会員のニーズに沿った新たな事業を創出し中小企業向けのメリットを拡充させるべき、会員と非会員でサービス格差も拡充すべきとの報告が行われた。

(2) 東京ビルメンお仕事さがしについて (東京協会実施サービスの報告)

2018年度より会員企業の人材マッチングのために開始したが、掲載情報の入力企業の負担感やサイトの認知度向上など課題が多いとの報告が行われた。

(3) 外国人労働者の雇用について

マンマーでの特定技能試験について、実施状況の報告が行われた。

(4) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ハウスキーピング業務について

各都県から、現在までの申し込み状況と今後の参加企業数増加への方策の報告が行われた。

①開催日：令和元年12月3日(火)

②会場：新潟県南魚沼市

③参加数：16名(東京地区本部8名、関東甲信越地区本部12名)